

## 第 4 回「活動計画を立てる」 2020 年 9 月 24 日

### 主催者振り返り（KEPT）シート まとめ

【主催者】 8 人 ※ 1 名提出なし

（内訳）行政職員 3 人（磐田市 2 人、菊川市 1 人）

国際交流協会スタッフ 1 人（磐田国際交流協会 1 人）

県多文化共生課 2 人、県国際交流協会 2 人

#### ●Keep（良かったこと、続けたいこと）

- ・ 菊川市チームの皆さんに日本語教室の概要をきちんと説明する機会が持ててよかった。  
楽しんでもらえるように、という思いを皆さんが持ち続けて教室に関わり続けてもらえるようにしたい。（松下愛理：菊川市地域支援課）
- ・ 豊富な知識の方々がたのしいです。（村井智和：磐田市地域づくり応援課）
- ・ 現場を知る。（森優也：磐田市地域づくり応援課）
- ・ コーディネーターさん、指導者中心に、色々とアイディアが出されていた。市の方が全体像を説明してくださって教室のイメージが共有できたこと。（川添裕子：（一社）磐田国際交流協会）
- ・ 2 つの市がそれぞれのやり方を相互補完する形で作業を進められたこと。（和田路也：県多文化共生課）
- ・ 各市に、ワークを任せて、よかった。参加者が主体的にワークに取り組む姿が素晴らしかった。特に、菊川市指導者の高山さん、磐田市 CD 足立さんの働きには、驚嘆するばかりだ。地域の方たちの力を、まちづくりに生かせること、その事業に関わらせてもらえることを感謝し、自分自身の力量も上げていきたい。（鈴木ゆみ：県国際交流協会）
- ・ 磐田市、菊川市、それぞれで話し合ったあと、全体で周知したとき、菊川、磐田間で良いところを出しあっていたのが印象的だった。それぞれの市、それぞれの指導者の持ち味が混ざりあって化学反応が起こりはじめていると感じた。（片山奈津実：県国際交流協会）

#### ●Problem（気になったこと、課題と思ったこと）

- ・ 学習者（松下さん）の疑問、本物のコミュニケーションが解決できない…  
→他の人も？（松下愛理：菊川市地域支援課）
- ・ 定員増は物理的に可能なのか不安です。（村井智和：磐田市地域づくり応援課）
- ・ 内容量、事前理解。（森優也：磐田市地域づくり応援課）
- ・ 時間が足りなかったこと。意見を言いたそうな感じで言えない人がいたこと。（和田路也：県多文化共生課）
- ・ 内容が盛り込みすぎで無理があった。ファシリテーションが難しかった。（鈴木ゆみ：県

国際交流協会)

・菊川市は指導者によって経験も価値観も異なるため、すりあわせに時間がかかったのもう少し時間がほしかった。(片山奈津実：県国際交流協会)

### ●Try (改善したいこと、チャレンジしたいこと)

- ・カリキュラムの作成にもう 1 回分の時間がほしい。(松下愛理：菊川市地域支援課)
- ・外国人と積極的にふれ合いたいです。(村井智和：磐田市地域づくり応援課)
- ・現場レベルの知識を得る。(森優也：磐田市地域づくり応援課)
- ・自分の関わり方。(川添裕子：(一社) 磐田国際交流協会)
- ・それぞれの市の人がお互いの教室をのぞきにいくこと。(和田路也：県多文化共生課)
- ・次年度の本講座の、構成を再検討する必要がある。(1 回 4 h ?) (鈴木ゆみ：県国際交流協会)
- ・主催者として、指導者の皆さんの思いを、休み時間などに積極的にききたいと思った。(片山奈津実：県国際交流協会)